

科目名	フィールドワーク（生活と社会） 「東北スタディツアー」		担当教員	金子重紀		
			担当形態	単独		
テキスト	特になし。	単位数 授業形態	2単位	演習	開講時期	集中
<p>講義概要</p> <p>■到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災・福島第一原発事故後の現状を知る。 ・復興とは何かについて、自らの考えを語るができる。 ・岩手の現状と福島の現状を比較しながら、原子力発電の是非について自分の考えを語るができる。 <p>■授業の概要</p> <p>児童養護施設ひかりの子学園の児童とともに、岩手（宮古）、福島（いわき、富岡周辺）をバスで回り、東日本大震災後の復興状況を見たり、地元の方の話を聞いたりします。復興が進む岩手に対して、原発事故のために震災後そのままに放置されている福島の現状との比較する。具体的な行程については、7月頃に決定する。</p> <p>■授業計画</p> <p>1) 事前準備 東日本大震災の経過、福島第一原発事故の概要を学習する。 岩手、福島の地理を把握し、行程を把握する。</p> <p>2) 研修 8月中旬ころに実施（授業概要のとおり）。3泊4日の予定。日程が決定次第、掲示にて知らせる。</p> <p>3) 事後学習 ・研修レポート作成。</p> <p>■準備学習</p> <p>東日本大震災に関する現在の状況は今でも報道されている。報道番組を見るなどして、現在の状況・問題点を把握しておく。</p> <p>■評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前準備への取り組み — 10% ・研修中の取り組み — 50% ・レポート — 40% 						
参考文献	特になし。	特記事項	定員：10名以内 予算：3万円程度			
卒業・免許状・資格との関連	保育士資格選択	幼				
		保	教養科目			

科目名	フィールドワーク（生活と社会） 「生活と文化を考える～富山県利賀村研修」		担当教員	由 田 新		
			担当形態	単独		
テキスト	資料を適宜用意します。	単位数 授業形態	2単位	演習	開講時期	集中
<p>講義概要</p> <p>■到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村の人々の生活にふれ、自らの生活をふりかえり、その違いや共通点について語る事ができる。 ・「小さな異文化」の発見から多様なものの見方、考え方に目を向けることができる。 <p>■授業の概要</p> <p>大都市圏とは違う昔ながらの生活スタイルをもっている富山県南砺市利賀村で様々な生活体験をすることを通して、普段無意識に営んでいる自分自身の「生活」を問い直したいと思います。また、仲間との共同生活・村の人との交流を通して、お互いの中にある「小さな異文化」にも気づいてほしいと思います。</p> <p>■授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 事前準備 2) 研修（9月に一週間程度を予定） <ul style="list-style-type: none"> ・村の生活を体験（一般の家庭に宿泊・そば打ち体験・農作業等） ・保育所での実習体験 ・自然体験（ブナ原生林探索・ナイトウォーク・岩魚のつかみ取り等） ・仲間との長期にわたる共同生活体験 3) 事後学習 <p>■準備学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習の際、利賀村について調べる等の準備学習を課します。 ・事後学習の準備として、利賀村研修での体験をまとめる等の課題を課します。 <p>■評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修への参加状況（積極的な取り組み、発言内容等） — 40% ・話し合いでのまとめレポート — 20% ・研修レポート — 40% 						
参考文献	適宜紹介します。		特記事項	費用は8万5千円程度を予定しています。		
卒業・免許状・資格との関連	保育士資格選択		幼			
			保	教養科目		

科目名	フィールドワーク（生活と社会） 「地域の保護者と協働する体験を通して、 子どもの育ちや子育てについて考える」		担当教員	石井章仁																																																				
			担当形態	単独																																																				
テキスト	なし	単位数 授業形態	2単位	演習	開講時期	集中																																																		
<p>講義概要</p> <p>■授業の到達目標■ 本科目は、地域で子育てをする全ての家庭に向けた活動を通じた活動を通して、子どもの育ちや子育てについて考え、実践できることを目的としています。 具体的には、地域で行われている遊び場「おゆみ野cafe」（月一回、第4土曜日、10：00 - 15：00）及び、育ちあいのひろばたいむの子ども食堂「まんぷくcafe」（月一回、概ね第3金曜日、16：00 - 20：00）に参画し、実践する体験を行います。</p> <p>■授業計画■</p> <table border="0"> <tr> <td>第1回</td> <td>オリエンテーション</td> <td>活動の説明</td> <td>第11回</td> <td>まんぷくcafeへの参画⑥（10月）</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>まんぷくcafeへの参画①（4月）</td> <td></td> <td>第12回</td> <td>おゆみ野カフェへの参画⑤（10月）</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>まんぷくcafeへの参画②（5月）</td> <td></td> <td>第13回</td> <td>まんぷくcafeへの参画⑦（11月）</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>おゆみ野カフェへの参画①（5月）</td> <td></td> <td>第14回</td> <td>おゆみ野カフェへの参画⑥（11月）</td> </tr> <tr> <td>第5回</td> <td>まんぷくcafeへの参画③（7月）</td> <td></td> <td>第15回</td> <td>まんぷくcafeへの参画⑧（12月）</td> </tr> <tr> <td>第6回</td> <td>おゆみ野カフェへの参画②（7月）</td> <td></td> <td>第16回</td> <td>おゆみ野カフェへの参画⑦（12月）</td> </tr> <tr> <td>第7回</td> <td>まんぷくcafeへの参画④（8月）</td> <td></td> <td>第17回</td> <td>まんぷくcafeへの参画⑨（1月）</td> </tr> <tr> <td>第8回</td> <td>おゆみ野カフェへの参画③（8月）</td> <td></td> <td>第18回</td> <td>おゆみ野カフェへの参画⑧（1月）</td> </tr> <tr> <td>第9回</td> <td>まんぷくcafeへの参画⑤（9月）</td> <td></td> <td>第19回</td> <td>まんぷくcafeへの参画⑩（2月）</td> </tr> <tr> <td>第10回</td> <td>おゆみ野カフェへの参画④（9月）</td> <td></td> <td>第20回</td> <td>おゆみ野カフェへの参画⑨（2月）</td> </tr> </table> <p>■準備学習■ 授業時間外に以下の取り組みを行うことがあります。 ・運営に関する準備等 ・レポートの作成 ・希望があれば合宿等の集中的な学びの機会</p> <p>■評価方法■ 活動への参加（80%） まとめのレポート（20%）</p>							第1回	オリエンテーション	活動の説明	第11回	まんぷくcafeへの参画⑥（10月）	第2回	まんぷくcafeへの参画①（4月）		第12回	おゆみ野カフェへの参画⑤（10月）	第3回	まんぷくcafeへの参画②（5月）		第13回	まんぷくcafeへの参画⑦（11月）	第4回	おゆみ野カフェへの参画①（5月）		第14回	おゆみ野カフェへの参画⑥（11月）	第5回	まんぷくcafeへの参画③（7月）		第15回	まんぷくcafeへの参画⑧（12月）	第6回	おゆみ野カフェへの参画②（7月）		第16回	おゆみ野カフェへの参画⑦（12月）	第7回	まんぷくcafeへの参画④（8月）		第17回	まんぷくcafeへの参画⑨（1月）	第8回	おゆみ野カフェへの参画③（8月）		第18回	おゆみ野カフェへの参画⑧（1月）	第9回	まんぷくcafeへの参画⑤（9月）		第19回	まんぷくcafeへの参画⑩（2月）	第10回	おゆみ野カフェへの参画④（9月）		第20回	おゆみ野カフェへの参画⑨（2月）
第1回	オリエンテーション	活動の説明	第11回	まんぷくcafeへの参画⑥（10月）																																																				
第2回	まんぷくcafeへの参画①（4月）		第12回	おゆみ野カフェへの参画⑤（10月）																																																				
第3回	まんぷくcafeへの参画②（5月）		第13回	まんぷくcafeへの参画⑦（11月）																																																				
第4回	おゆみ野カフェへの参画①（5月）		第14回	おゆみ野カフェへの参画⑥（11月）																																																				
第5回	まんぷくcafeへの参画③（7月）		第15回	まんぷくcafeへの参画⑧（12月）																																																				
第6回	おゆみ野カフェへの参画②（7月）		第16回	おゆみ野カフェへの参画⑦（12月）																																																				
第7回	まんぷくcafeへの参画④（8月）		第17回	まんぷくcafeへの参画⑨（1月）																																																				
第8回	おゆみ野カフェへの参画③（8月）		第18回	おゆみ野カフェへの参画⑧（1月）																																																				
第9回	まんぷくcafeへの参画⑤（9月）		第19回	まんぷくcafeへの参画⑩（2月）																																																				
第10回	おゆみ野カフェへの参画④（9月）		第20回	おゆみ野カフェへの参画⑨（2月）																																																				
参考文献	追って指示する		特記事項																																																					
卒業・免許状・資格との関連	保育士資格選択		幼																																																					
			保	教養科目																																																				

科目名	フィールドワーク（生活と社会） 「世界の最貧国 カンボジアの子どもたち」		担当教員	伊藤 恵里子		
			担当形態	単独		
テキスト	特になし。	単位数 授業形態	2単位	演習	開講時期	集中
<p>講義概要</p> <p>■到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最貧国の一つであるカンボジアの子どもたちの暮らしを、実際に子どもに触れ合うことで実感し、理解する。 ・フィールドワークを通して、カンボジアの歴史を理解する。 <p>■授業の概要</p> <p>カンボジアの首都プノンペンをフィールドとして体験研修を行う。</p> <p>カンボジアは、世界の最貧国の一つである。多くの人が一日2ドル（約200円）以下での生活という絶対的貧困状況の中で暮らしている。そうした状況にあるプノンペンの児童養護施設や障害者自立生活センター、貧困地域の幼稚園・小学校を訪問し、子どもたちと遊び、触れ合う中で、子どもたちがどのような暮らしをしているかを考えたい。</p> <p>また、カンボジアは20年ほど前に、同じ国民同士が戦争を行い、国民の約5分の1が政府によって虐殺された国でもある。そうした歴史をふりかえる中で、「平和とは?」「人間とは?」ということに参加者皆で考えたい。</p> <p>■授業計画</p> <p><事前学習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・カンボジアの歴史について調べ、レポートにまとめる。 ・海外での体験研修を安全に楽しむための確認を行う。 <p><体験研修></p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童養護施設、障害者自立生活センター、幼稚園、小学校などを訪問し、子どもたちと遊び、触れ合う。 ・カンボジア内戦の傷跡を刻んでいるフィールドを訪問する。 <p><事後学習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験研修のふりかえり。 ・体験研修で学んだことをレポートにまとめる。 ・「体験研修報告会」にてレポート内容を報告する。 <p>■準備学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カンボジアの歴史や現状について調べること。 <p>■評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習のレポート — 20% ・体験研修への積極的な参加姿勢 — 60% ・事後レポート — 20% 						
参考文献	適宜紹介する。		特記事項	定員：10名以下。 費用：10万円程度を予想しているが、レートにより高くなる場合有。		
卒業・免許状・資格との関連	保育士資格選択		幼			
			保	教養科目		

科目名	フィールドワーク（生活と社会） 「お話ライブをしよう」		担当教員	高 森 智 子		
			担当形態	単独		
テキスト	なし。	単位数 授業形態	2単位	演習	開講時期	集中
<p>講義概要</p> <p>■到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの年齢に応じて絵本や紙芝居を選ぶことができる。 ・絵本や紙芝居、手あそび等の技能を身につけることができる。特に、昔話は素話で必ず一つ語れるようになる。 ・低年齢児向けのお話会を企画し、実施することができる。 <p>■授業の概要</p> <p>学外において、月1回程度「お話ライブ」（主に未就園児の親子が対象、約40分程度）を企画・実施します。「お話ライブ」の様子は撮影し、後日映像を見ながら振り返りを行います。</p> <p>お話ライブの内容は、絵本・紙芝居・素話・パネルシアターなど様々です。これらの技能の修得・向上を目指すとともに、「子どもたちの心を引きつけるお話ライブとは？」ということについて考えます。</p> <p>■授業計画</p> <p>第1回 オリエンテーション・お話ライブ①打ち合わせ 第2回 お話ライブ① 第3回 お話ライブ振り返り①・お話ライブ②打ち合わせ 第4回 お話ライブ② 第5回 お話ライブ振り返り①・お話ライブ③打ち合わせ 第6回 お話ライブ③ 第7回 お話ライブ振り返り③・お話ライブ④打ち合わせ 第8回 お話ライブ④ 第9回 お話ライブ振り返り④・お話ライブ⑤打ち合わせ 第10回 お話ライブ⑤ 第11回 お話ライブ振り返り⑤・お話ライブ⑥打ち合わせ 第12回 お話ライブ⑥ 第13回 お話ライブ振り返り⑥・お話ライブ⑦打ち合わせ 第14回 お話ライブ⑦ 第15回 お話ライブ振り返り⑦</p> <p>■準備学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が発表する演目は、事前に練習しておくこと。 ・昔話（できれば千葉の話）を、必ず一つ素話でできるようになること。 ・手あそびを7個以上できるようになること。 <p>■評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・打ち合わせ・振り返りへの参加状況（取り組み、発言内容等） — 40% ・お話ライブへの参加状況（取り組み、発表内容等） — 40% ・レポート — 20% 						
参考文献	「千葉のむかし話」日本標準		特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・定員7名程度（希望者が多い場合は、面接をすることがあります） ・お話ライブ当日は、1時間程度学内でリハーサルをします。 		
卒業・免許状・資格との関連	保育士資格選択		幼			
			保	教養科目		